

安全に楽しく! 自転車のルール

≡ 自転車は、気軽に乗れる乗り物です ≡

近所への買い物に利用したり、サイクリングに行ったりする方もいると思います。
自転車に乗るときには、色々なルールが決まっています。
ルールを守らないと、誰かに怪我を負わせてしまうこともあります。
大きな事故も起きていますので、注意しましょう。



自転車は、車の仲間

自転車に乗るときは、原則として、
車道の左側を走らなくてはなりません。
ただし、13歳未満のお子さんや70歳以上の高齢者、
それから、車道を走るのが危ないときや
「自転車通行可」の標識がある歩道では、
自転車は、歩道を走ることができます。
歩道を走るときは、車道よりを、
歩行者を優先しながら、ゆっくりと走りましょう。

歩行者が優先だよ!
ゆっくり走ろうね!



飛び出し注意! 安全確認!

交差点やまがり角では、スピードを落としましょう。
「止まれ」の標識のある場所では、必ず一時停止、
安全を確認してから走り出しましょう。
また、信号機の表示をしっかり守って走りましょう。
青信号でも、左右を見て、安全を確認してから進みましょう。

保険に入る義務があります

東京都では、令和2年4月1日から、自転車利用中の事故により、
他人に怪我をさせてしまった場合などの損害を
賠償できる保険への加入が義務となりました。
自転車の事故で相手に大怪我を負わせてしまい、
賠償額が9,000万円を超えた事例もあります。
「私は事故なんて起こさない」と思うことなく、保険に加入してください。
詳細は、警視庁ホームページにも掲載しています。▶



▲ 交通安全情報サイト「TOKYO SAFETY ACTION」では、ピーボくんミニゲームや交通安全に関する動画などを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



お金をだましとられる!?

なりすましショートメール

携帯電話(スマートフォン)には、色々な機能があります。通話はもちろん、色々なホームページを見る、メールを送る、更にはゲームをすることもできます。

その機能のひとつ、SMS(ショートメール、ショートメッセージサービス、Cメール)って聞いたことはありますか?

これは、携帯電話の番号を宛先にして送るメールのことです。最近、このSMSを利用した詐欺の被害が急増しています。

有名な配送業者や、クレジットカード会社、銀行などのふりをして、あなたをだまし、個人情報を引き出そうとします。携帯電話を持っている人なら、誰でもだまされる可能性があるのです。

こんな内容が届きます

「〇〇配送です。あなた宛ての荷物をお届けにあがりましたが、不在のため持ち帰りました。再配達の手続きはこちらから(偽物サイトへ誘導するアドレス)」

「会員登録料が未払いです。本日ご連絡なき場合、少額訴訟の手続きに移行いたします。連絡先はこちら(犯人につながる電話番号)」
など様々な文言を使ってきます。

この手口について、
動画でも詳しく説明しています



携帯電話に〇×銀行から「本人確認のお願い」というショートメールが届きます。



ショートメールには、「ここから手続きをしてください」とサイトのアドレスが書いてあります。



だまされないためには

- SMSに書いてあるホームページのアドレスや、連絡先を信用しない
絶対に、電話をかけたり、記載されているアドレスをクリックしたりしないでください。
- 銀行やクレジット会社のサイトには、公式サイトや公式アプリからアクセスするようにしましょう
- 身に覚えのないSMSには反応しない



困ったときには、ご家族や友人、警察に相談してください。



便利だけど、使用に注意!

Wi-Fiスポット(公衆無線LAN)

「このお店ではWi-Fiが使えます」という言葉を聞いたり、お店の入り口などで、右のようなマークを見たことはありますか?



Wi-Fiというのは、無線を使ってインターネットに接続する技術のことです。この技術のおかげで、喫茶店やホテル、駅などで、その施設の中や周辺にいれば、誰でも、自由に無料でインターネットを使うことができるようになりました。これは「Wi-Fiスポット(公衆無線LAN)」というもので、外出先でインターネットを使いたいときにとても便利です。

しかし、誰でも使えるということは、悪い人も使えるということです。この便利な通信環境を利用して、あなたの個人情報を盗み取ろうとしています。

Wi-Fiスポットを使うときの留意点

- ① ネットショッピングをしない
クレジットカードの情報や、住所などの情報が盗まれる場合がある。
- ② インターネットバンキング(インターネットで銀行と取引をすること)を使用しない
パスワードやIDなどを盗まれ、お金を勝手に引き出される場合がある。

この手口について、動画でも詳しく説明しています



Wi-Fiスポットのある喫茶店で、インターネットをしています。



通販サイトを見ていたら、素敵な商品を発見しました。この通販サイトには何の問題もありません。しかし……



そのまま買い物をしてしまうと、犯人が、その情報を盗み取る危険があります。



犯人は盗んだ情報を使って、高額の高い物をしたり、住所などの情報を悪用します。

ここにも注意! テレワーク



働き方改革や、新型コロナウイルスの影響で、「テレワーク」という言葉をよく聞くようになりました。

テレワークは、ICT(インターネットを利用したコミュニケーション)を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方のことをいいます。会社のオフィスに行かなくても、私生活に合わせて、自宅や近所の喫茶店などで仕事をすることができます。

一方で、コンピューターやインターネットのセキュリティ対策について注意が必要です。例えば、街中で自由

に利用できるWi-Fiスポットを利用するときです。危険性を知らずに使っていると、事例のように、個人情報や会社の機密を全て盗み取られてしまうかもしれません。また、Wi-Fiスポットを使用していなくても、カフェなどでパソコンの画面を盗み見て、あなたの情報を得ようとしている人もいます。

テレワークをする際の注意について、警視庁のホームページに詳しく掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

